

誌上クラス会 三信建設工業株式会社 OB会だより 訪問日10月22日

関東緑土会 顧問 船越靖男(昭和41年卒業)

今回の誌上クラス会は、「三信建設工業株式会社 本社」を訪問しコミュニケーションを図ることができました。

三信建設工業株式会社の本社は、東京都台東区のJR総武線浅草橋駅にほど近い隅田川が見渡せるビルの7階にあり、従業員数170名の地盤に関わる特殊基礎土木の専門工事会社です。

[「http://www.sanshin-corp.co.jp/」](http://www.sanshin-corp.co.jp/)



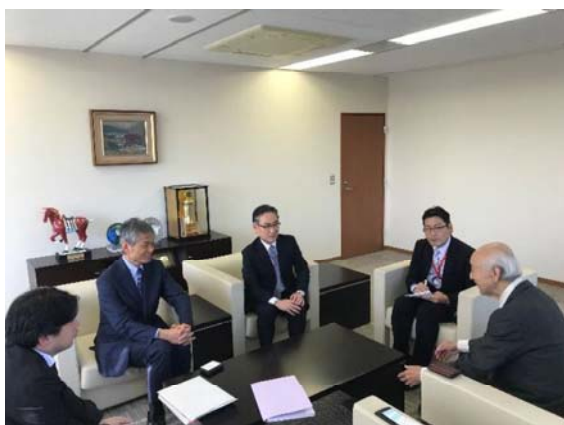
応接室からの展望（正面は国技館）

今回は島野さん(平成9年卒業)を通じ、緑土会OBの皆様にお会いできました。同社の相談役をされている大沢さん(昭和52年卒業)、今年4月に社長就任された山崎さん(昭和57年卒業)、島野さん(平成9年卒業)、原田さん(平成11年卒業)の4名の皆様に集まっていただきました。現在5名の武蔵工業大学(現東京都市大学)の卒業生が在籍されています。

訪問者は、関東緑土会 船越・中山幹事の2名です。

1時間ほどお忙しい中時間を頂き、いつもの様に「関東緑土会」からは「誌上クラス会」の趣旨と「緑土会活動の活性化」のための5項目のお願いをし、雑談を交えてコミュニケーションを図ることができました。

島野さんからは別添資料として、「会社概要」と「武蔵工大/東京都市大OBの状況」等の資料を頂きました。



左より 島野さん、大沢さん、山崎さん、原田さん、
船越顧問



前列左より 山崎さん、船越顧問
後列左より 中山幹事、島野さん、大沢さん、原田さん

【添付資料】

- 1.三信建設工業 学生用会社案内
- 2.緑土会OB在籍者名簿、名刺
- 3.三信建設工業 パンフレット
- 4.SANSHIN-TOPIC Vol.18001～18003

会社案内



三信建設工業株式会社

地盤技術のプロバイダー

三信建設工業は、**地盤と正面**から**向き合い**、
特殊基礎土木技術で社会に**貢献**しています。



私たちは 地盤専門会社としての60年の歴史と経験と技術により 防災減災を含むインフラ整備事業を通じ 社会に貢献しています。

学生の方へメッセージ

技術系、事務系問わず、基礎的な工法を
実際の現場で学ぶ実践色の強い新人研修
も当社の自慢の一つ。みなさんのプロとし
ての成長を全力で応援します

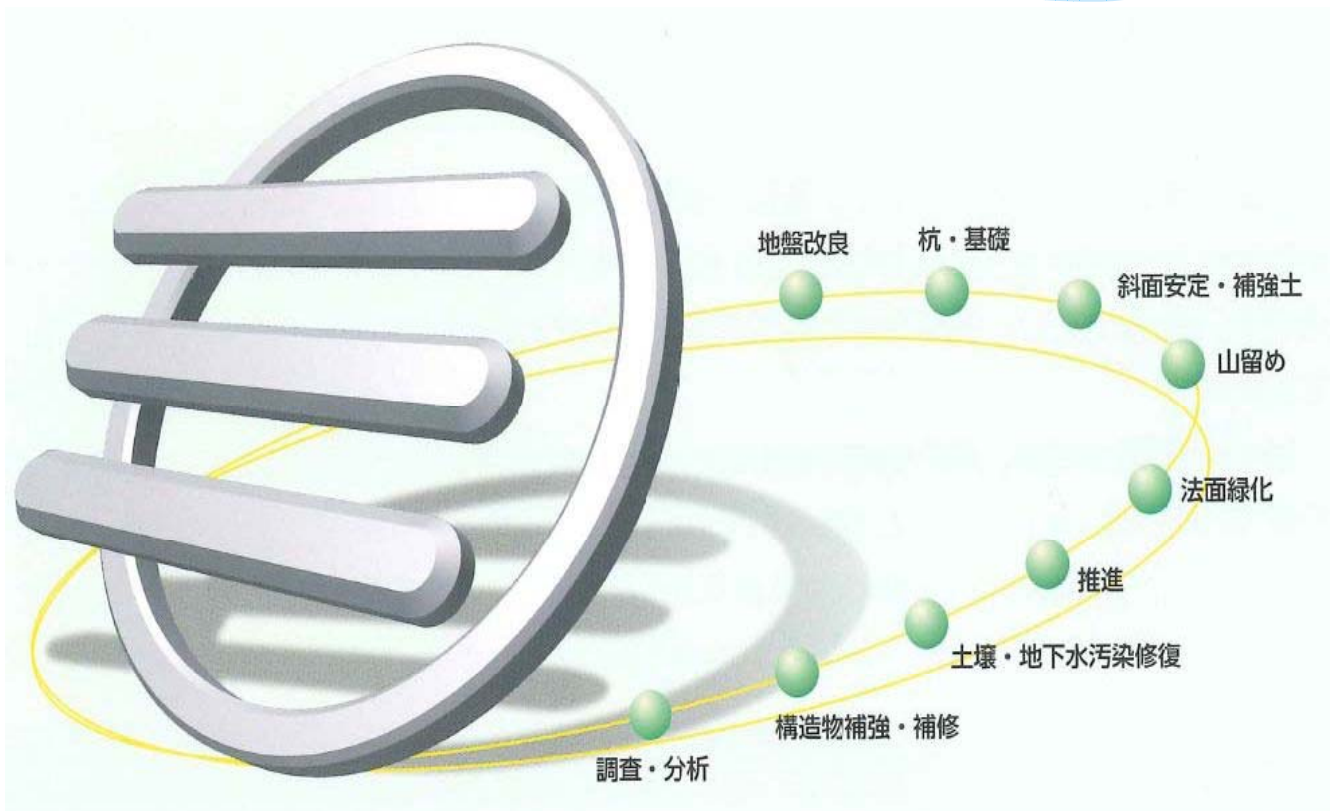


会社概要

- * 商 号 : 三信建設工業株式会社
- * 英文社名 : SANSHIN CORPORATION
- * 設 立 : 1956年11月16日
- * 資 本 金 : 5億円
- * 株 式 : 非上場
- * 事業内容 : 特殊基礎土木工事業
- * 建設許可 : 大臣許可(特般-29)第8562号
- * 本 社 : 東京都台東区
- * 支 店 : 東京 仙台 名古屋 関西
広島 九州 台北 香港

エンジニアリング構成

地下を支え、山を押さえ、液状化を防ぐ

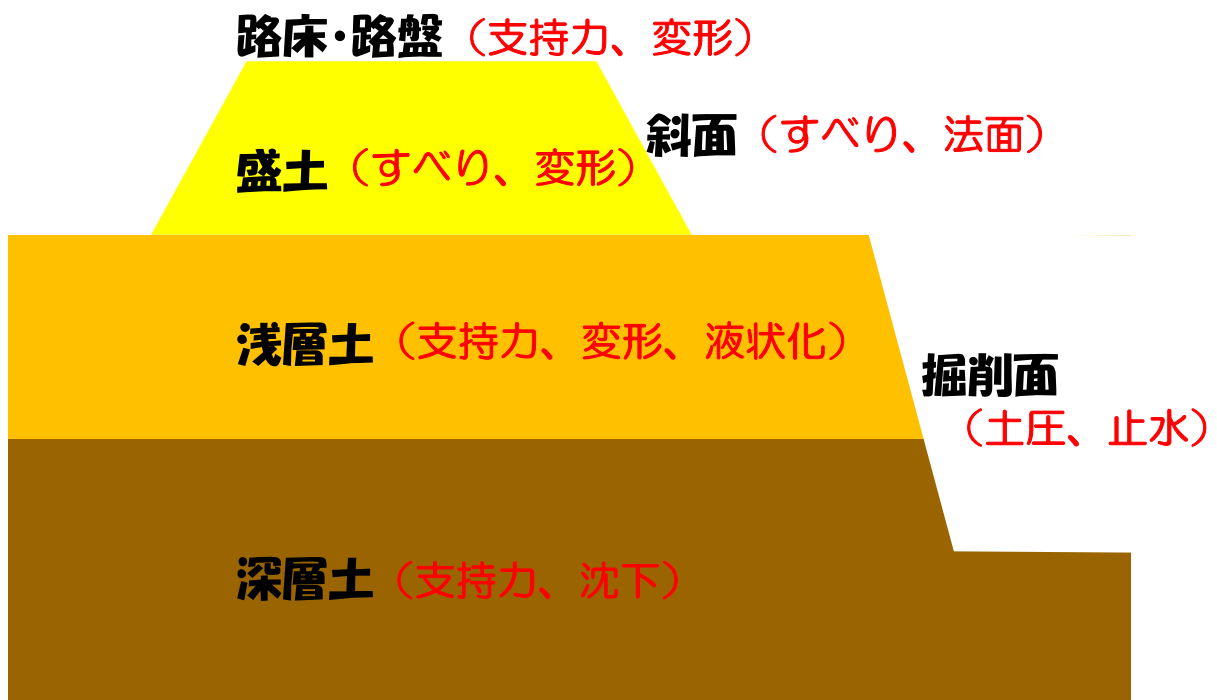


○技術職

地盤改良を主体とする“施工管理・技術営業・研究開発”が業務の柱です。担当は異なっても地盤のエキスパートを目指しています。

地盤改良とは？

- * 地盤土の物性を改良すること(土の改良)
 - 土の脱水によって強度増加を図る(圧密脱水)
 - 土を締め固めて高密度化を図る(高密度化)
 - セメント等の注入または添加・混合により土を改良する(固結)
- * 良質な土と入れ換えること(置換)
- * 土の弱点を他の材料で補うこと(補強)



学校別出身者リスト

東京都市大学

三信建設工業株式会社

2018年4月1日

氏名	学部	学科	卒年	勤務
1 大沢 一実	工	・ 土木	1977	本社
2 山崎 淳一	工	・ 土木	1982	本社
3 島野 嵐	工	・ 土木	1997	技術本部
4 原田 良信	工	・ 土木	1999	東京支店
5 小森 剛史	工	・ 土木	2008	東京支店



(S52年卒)

三信建設工業株式会社

相談役

大 沢 一 実

技術士（建設部門：土質及び基礎）

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6
Tel.03-5825-3700(代)Fax.03-5825-3756
E-mail:k-osawa@sanshin-corp.co.jp
U R L: http://www.sanshin-corp.co.jp/



(S57年卒)

三信建設工業株式会社

代表取締役社長

山 崎 淳 一

技術士（建設部門：土質及び基礎）

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6
Tel.03-5825-3700(代)Fax.03-5825-3756
E-mail:j-yamazaki@sanshin-corp.co.jp
U R L: http://www.sanshin-corp.co.jp/



(H09年卒)

三信建設工業株式会社

技術本部
副部長

島 野 嵐

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6
Tel.03-5825-3707Fax.03-5825-3757
E-mail:a-shimano@sanshin-corp.co.jp
U R L: http://www.sanshin-corp.co.jp/



(H11年卒)

三信建設工業株式会社

東京支店
営業部 課長代理
技術営業担当

原 田 良 信

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6
Tel.03-5825-3708Fax.03-5825-3758
E-mail:y-harada@sanshin-corp.co.jp
U R L: http://www.sanshin-corp.co.jp/



(H20年卒)

三信建設工業株式会社

東京支店
工事部 主任

小 森 剛 史

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6
Tel.03-5825-3709Fax.03-5825-3758
E-mail:t-komori@sanshin-corp.co.jp
U R L: http://www.sanshin-corp.co.jp/

SANSHIN CORPORATION



 三信建設五業株式会社
www.sanshin-corp.co.jp

三信建設五業株式会社

未来への3つの約束

「国土を支える」、「自然災害から守る」、「次世代へつなぐ」

信頼される技術と継続していく力

私たち三信建設工業は

安全で快適な国土を次世代へ残すという使命を心に

未来へ向け、社会の安心の創造に挑戦していきます

国土を支える

安心・安全を生む信頼の技術力。
私たちは社会資本を支えます。



次世代へつなぐ

国の未来を支える創造力。
私たちは持続可能な国土形成を目指します。



自然災害から守る

自然と調和した社会への実行力。
私たちは自然災害から国土を守ります。

7 TECHNOLOGY

地盤改良	4
機械攪拌	4
高圧噴射	5
地盤注入	6
締固め	7
アンカー	8
補強土・のり面保護	9
杭・基礎	10
圧密・排水	11
構造物補修・補強	12
土壌・地下水汚染修復	13



CPG工法

(コンパクトングラウチング工法)

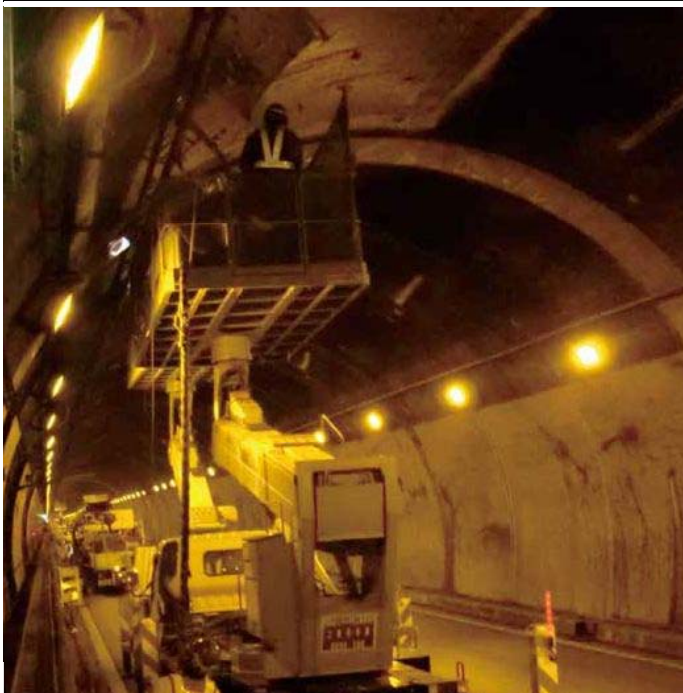
» 供用中の空港滑走路の耐震補強
NETIS登録番号 | KTK-140005-A



WILL工法

» 震災復興に大活躍

NETIS登録番号 | QS-090004-V



トンネル裏込め注入工法

» 既設トンネルの長期保全



V-JET工法

» 大径改良を高速施工
NETIS登録番号 | KT-120047-A

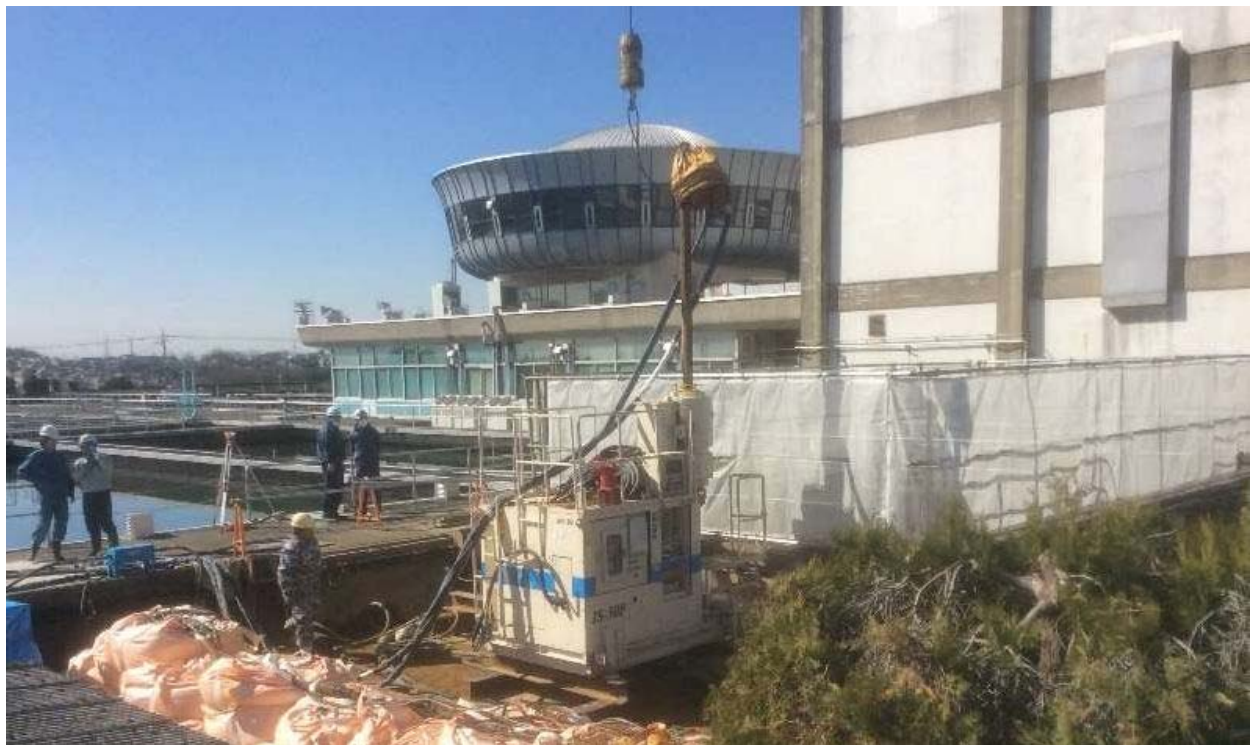


ソイルネイリング工法

» 掘削地山を効率的に山留め・安定

浄水場施設の耐震補強で採用された大口径高圧噴射攪拌工法（揺動タイプ）

— V-JET工法 —



○施工目的

沈でん池の混和池施設の耐震補強で大口径高圧噴射攪拌工法のV-JET工法（揺動タイプの半円改良体）が採用されました。

通常仕様の改良径では未改良部分が生じてしまうため、この内の2本をさらに大口径φ6000mmの造成可能な特殊仕様に変更するため、出来形確認をJWMシステム（切削状況モニタリングシステム）によって行い、特殊仕様の設定をしました。

○施工概要

改良径 (mm)	本数 (本)	改良長 (m)	総噴射量 (m ³)
φ6000	2	3.0	32.059
φ5000	9	3.0	121.054
合計	11	-----	153.113



〒111-0052

東京都台東区柳橋2-19-6

TEL : 03-5825-3704 (事業本部 営業部)

FAX : 03-5825-3756 (事業本部 営業部)

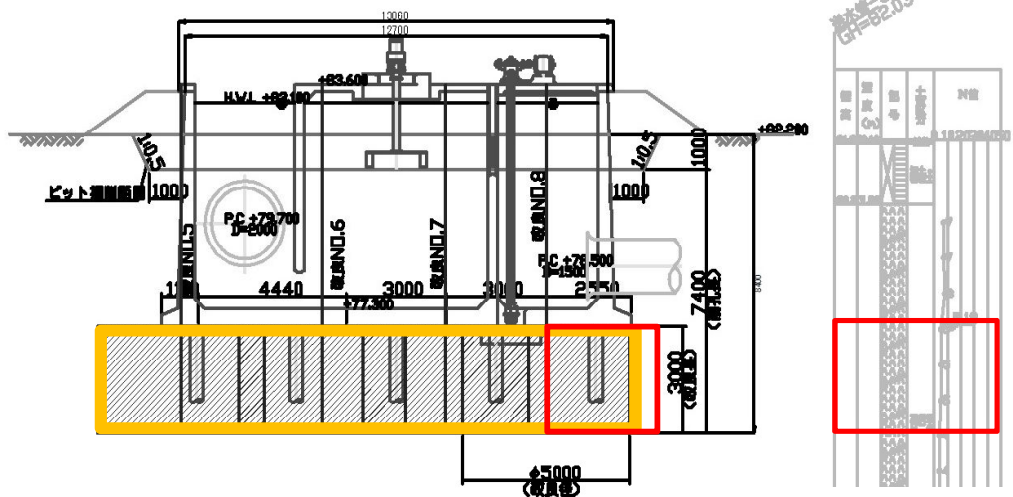
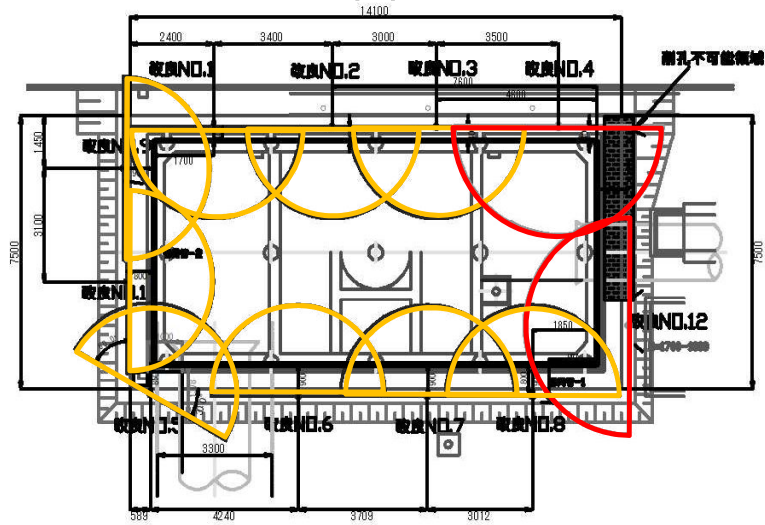
URL : <http://www.sanshin-corp.co.jp/>

E-mail : sales@sanshin-corp.co.jp (事業本部 営業部)



V-JET工法(揺動タイプ:半円改良体)

平面図



JWM システム 測定状況



鉄道盛土の耐震補強に採用された地山補強土工法

— ハイスペックネイリング 工法 —



施 工 数 量	
削 孔 径	φ 115mm
施工本数	188本
総削孔長	1,942m

盛土部の施工

◎施工目的

鉄道盛土の耐震補強として地山補強土工法（ハイスペックネイリング工法）が採用されました。

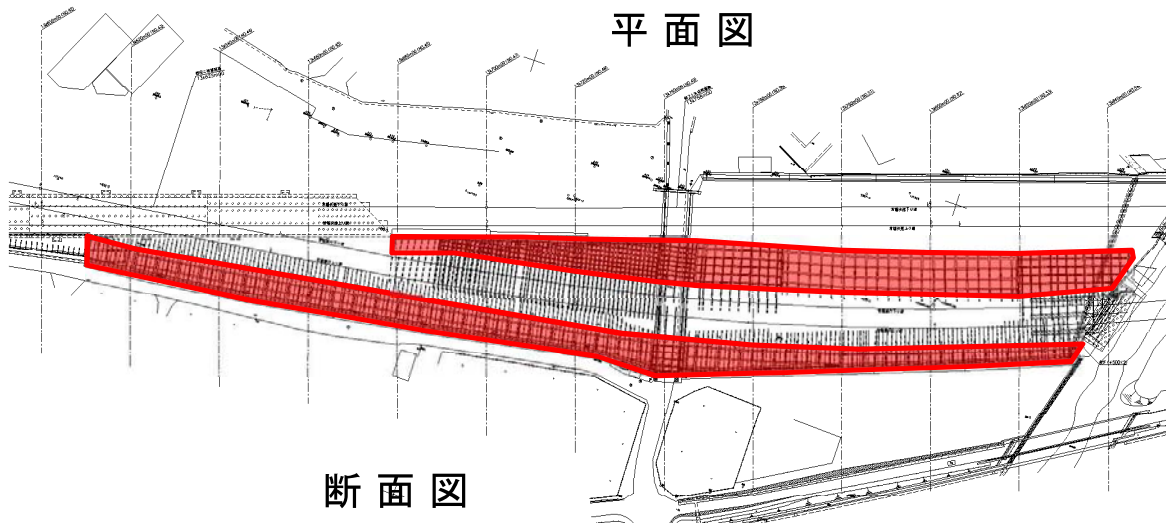
当初本工事は削孔径（φ170mm）の中径棒状補強材で計画されていましたが、打設箇所が線路間という限られたスペースでの施工となることから、更にコンパクトな削孔機やコアドリルによる施工方法を検討した結果、同等の性能を得る事が出来る「ハイスペックネイリング工法（削孔径φ115mm）」の採用に至り、線路間の施工でその効果を十分に発揮する事が出来ました。



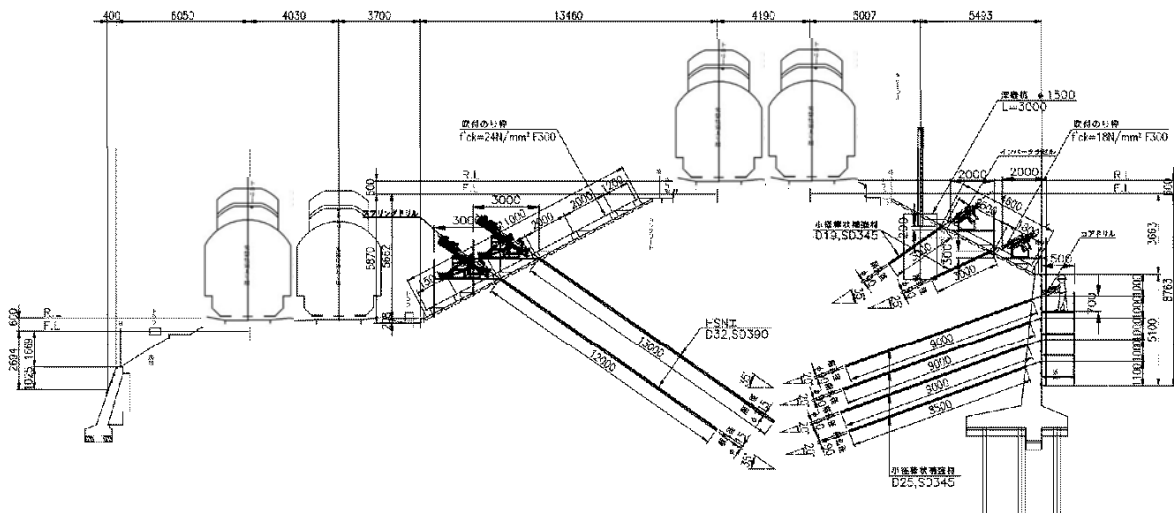
擁壁部の施工



平面図



断面図



コアドリル



小型削孔機



鉄道沿線で採用された石積壁の耐震補強工法

— ピンナップ工法 —

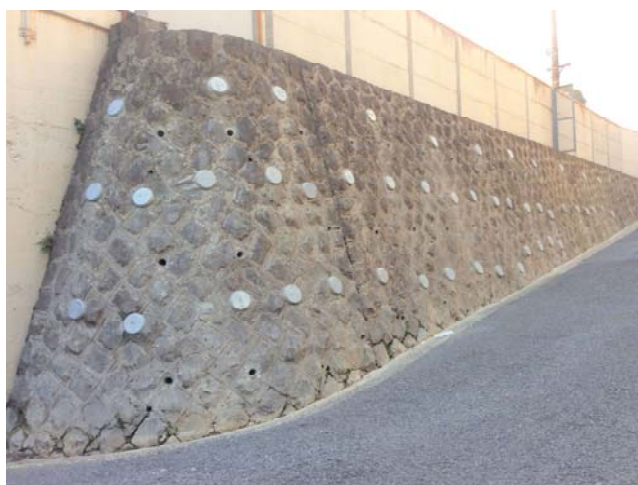


◎施工目的

鉄道沿線の石積壁は、壁前面の敷地に余裕がなく、営業線を供用しながらの斜面施工となり、大規模な施工機械や足場を設けることが困難となります。

このような施工条件を踏まえ石積壁の耐震補強として、ピンナップ工法が採用されました。

石積壁高さによって、I型、II型のピンナップ工法を使い分けて施工し、頭部処理は景観に配慮し埋込式の定着キャップを採用しました。



〒111-0052

東京都台東区柳橋2-19-6

TEL : 03-5825-3704 (事業本部 営業部)

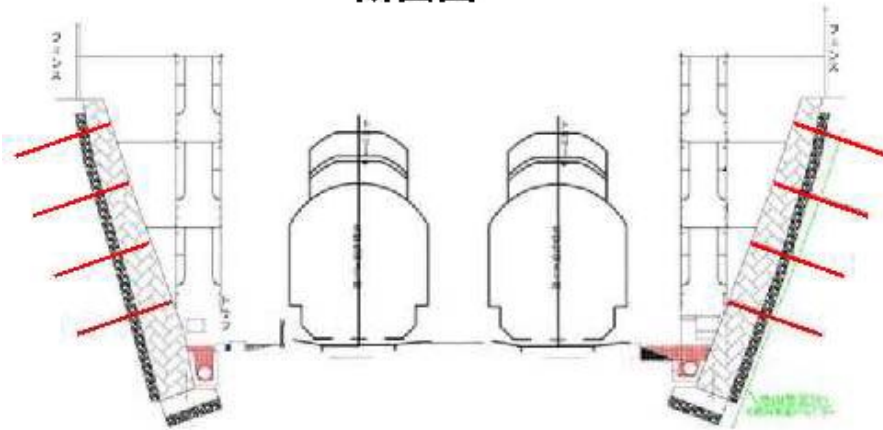
FAX : 03-5825-3756 (事業本部 営業部)

URL : <http://www.sanshin-corp.co.jp/>

E-mail : sales@sanshin-corp.co.jp (事業本部 営業部)



断面図

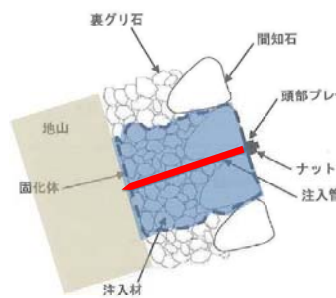


ピンナップ工法は、Ⅰ型（部分固化工法）、Ⅱ型（固化体定着工法）の2種類があります。

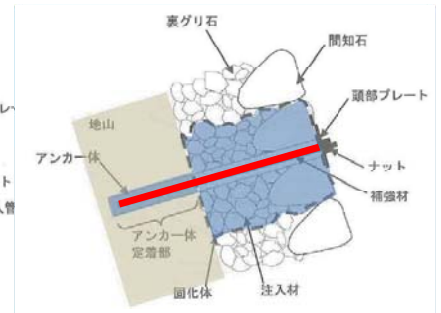
Ⅰ型は、間知石とその背後の裏グリ石を部分的に固化して一体化し、壁体の重心位置を背後側へ移動させ、これにより間知石の背面地山へのもたれ効果を増加させる工法。

Ⅱ型は、Ⅰ型で形成した固化体を背後の地山に定着して、裏グリ石が移動しない箇所を石積壁の中に確実に形成する工法。

Ⅰ型



Ⅱ型



景観に配慮した埋込式の定着キャップ

従来型定着キャップ



埋込式定着キャップ設置状況

